

べっぷ 市議会だより

2018.8.1

No.140



昨年の「べっぷ火の海まつり納涼花火大会」の様子

CONTENTS

- P2 主な議案の概要
- P3 議決結果、第3回定例会（予定）
- P4 議案質疑（別府市温泉発電等の地域共生を図る条例の一部改正について、
別府市犯罪被害者等支援条例の制定について）
- P5 常任委員会審査
- P6 ▶ P11 一般質問（17名が市政を問う）
- P12 永年勤続市政振興功労者表彰、編集後記

温泉資源の保護を目的に 附帯決議を付して可決

平成30年第2回定例会は6月14日から27日までの14日間にわたり開催いたしました。今定例会では、市長提出議案25件、議員提出議案4件、議員派遣1件の計30件について議決を行いました。

市長提案理由では議会に提出された各議案の概要等が説明されたほか、「防災、災害対策」、「おんせん県おいた世界温泉地サミット」などについて報告がありました。温泉関係では、厚生環境教育委員会において、「別府市温泉発電等の地域共生を図る条例の一部改正について」に対して、地域住民の声を反映させ、より充実した内容の条例にするため、附帯決議を付し可決すべきものと決定しました。

防災、災害対策関係では、去る6月18日、大阪府北部を震源とする地震でブロック塀が倒壊し、2名の方が犠牲になられた事故を受け、人身被害の防止と避難・救助・消防活動の円滑化を図るため、緊急対策として、危険性のあるブロック塀等の除却を促進する補助制度を新設するとの説明がありました。議員から、迅速な対応策に評価があった一方、補助対象となるブロック塀等の要件の柔軟な対応について要望がありました。

なお、採決においては、すべての議案が原案のとおり可決等されました。

「附帯決議」とは、案件に対する執行上の要望などをまとめたもので、案件に付随する決議です。

主な議案の概要

- **一般会計補正予算（第1号）** ※表中の金額は、1万円未満の額を切り捨てて表示しています。

市税等還付金…………… 5419万円

過去の県民税徴収取扱費について、納税義務者数の重複積算に起因する過大受領に対し、県へ返納します。

共同温泉に要する経費…………… 700万円

平成28年の熊本地震にて取り壊した梅園温泉について、再建の目途が立ったため、温泉建設等補助金及び貸付金を追加します。

民間児童福祉施設助成に要する経費…………… 3049万円

認定こども園の入所定員の増加を目的とした増築に対する民間児童福祉施設整備費補助金の追加及び国庫補助率の改正に伴う財源補正をします。

- **一般会計補正予算（第2号）** ※表中の金額は、1万円未満の額を切り捨てて表示しています。

建築指導事務に要する経費…………… 350万円

大阪府北部を震源とする地震によりブロック塀が倒壊した事故を受けて、市内にある危険性の高いブロック塀等の除却に対して補助を行う制度を新設します。

- **条例**

別府市犯罪被害者等支援条例の制定について

犯罪被害者等の支援に関し、基本理念等を定め、犯罪被害者等の支援を総合的に推進するため、条例を制定します。

別府市温泉発電等の地域共生を図る条例の一部改正について

温泉資源の保護を図るため、温泉発電等を目的とする源泉の掘削を回避すべき地域の指定、当該地域における掘削の手続き等を定めることに伴い、条例を改正します。

第2回定例会における議案の審議結果など

議案等番号	件名	議決結果	議案等番号	件名	議決結果
議第40号	平成30年度別府市一般会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)	議第58号	市長専決処分について (別府市都市計画税条例の一部を改正する条例)	承認 (全会一致)
議第41号	平成30年度別府市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)		議第59号	市長専決処分について (別府市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	
議第42号	平成30年度別府市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)		議第60号	市長専決処分について (固定資産評価員の選任:別府市職員 池田 忠生)	
議第43号	別府市出張所設置条例の一部改正について		議第61号	別府市教育委員会委員の任命につき議会の同意を求め ることについて(山本 隆正)	同意 (全会一致)
議第44号	別府市長の選挙におけるピラの作成の公費負担に 関する条例の一部改正について		議第62号	別府市職員懲戒審査委員会委員の選任につき議会の 同意を求めることについて(別府市職員 本田 明彦)	
議第45号	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に 関する条例の一部改正について		議第63号	副市長の選任につき議会の同意を求めることについて (川上 隆)	同意 (多数)
議第46号	別府市税条例等の一部改正について		議第64号	平成30年度別府市一般会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議第47号	別府市税条例の一部を改正する条例の一部改正につ いて		議員提出 議案第3号	精神障がい者に対する公共交通機関の運賃割引の適 用を求める意見書	
議第48号	別府市都市計画税条例の一部改正について		議員提出 議案第4号	日本年金機構の情報セキュリティー対策の見直しを 求める意見書	
議第49号	別府市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に 関する基準を定める条例の一部改正について		議員提出 議案第5号	旧優生保護法による不妊手術の被害者救済を求める 意見書	
議第50号	別府市指定地域密着型サービスの事業に係る申請者の 要件並びに人員、設備及び運営に関する基準等を定め る条例及び別府市指定地域密着型介護予防サービスの 事業に係る申請者の要件並びに人員、設備及び運営に 関する基準等を定める条例の一部改正について	議員提出 議案第6号	義務教育費国庫負担制度堅持・教育予算拡充を求め る意見書		
議第51号	別府市犯罪被害者等支援条例の制定について	報告第2号	平成29年度別府市一般会計繰越明許費繰越計算書 の提出について	報告	
議第52号	別府市温泉発電等の地域共生を図る条例の一部改正 について	報告第3号	平成29年度別府市公共下水道事業特別会計繰越明 許費繰越計算書の提出について		
議第53号	工事請負契約の締結について (旧西小学校管理教室棟外解体工事)	報告第4号	平成29年度別府市後期高齢者医療特別会計繰越明 許費繰越計算書の提出について		
議第54号	動産の取得について(高規格救急自動車)	報告第5号	平成29年度別府市水道事業会計予算繰越計算書の 提出について		
議第55号	和解及び損害賠償の額の決定について	報告第6号	一般財団法人別府市総合振興センターの経営状況説 明書類の提出について		
議第56号	市道路線の認定及び廃止について	報告第7号	一般財団法人大分県東部勤労者福祉サービスセン ターの経営状況説明書類の提出について		
議第57号	市長専決処分について (別府市税条例の一部を改正する条例)	報告第8号	市長専決処分について		
			議員派遣		原案可決 (全会一致)

賛否の分かれた議案

議案番号	件名	議決結果	会派・議員名																								
			自民・創生							新風べっぶ			公明党			市民クラブ		自民クラブ		志士の会・自民	日本共産党議員団	桃花善心の会					
			江藤勝彦	三ヶ尻正友	野口哲男	国美久夫	萩野忠好	安部一郎	阿部真一	山本一成	松川章三	野上泰生	森大輔	小野正明	堀本博行	市原隆生	荒金卓雄	穴井宏二	加藤信康	森山義治	三重忠昭	首藤正	河野数則	松川峰生	黒木愛一郎	平野文活	竹内善浩
議第51号	別府市犯罪被害者等支援条例の制定について	可決(多数)	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議第63号	副市長の選任につき議会の同意を求め ることについて	可決(多数)	○	欠	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○

議案賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「-」、欠席者は「欠」、議長は「/」(採決に加わらない為)
法律により、採決に加われない議案は「除」

請願・陳情

どなたでも市議会に請願・陳情
することができます。
請願とは、国や県・市に対し要
望や意見を述べることをいいま
す。別府市議会に請願書を提出す
るには別府市議会議員の紹介が必
要になります。

詳しくは別府市議会ホームページを
ご覧ください。また、議会事務局
までお問い合わせください。
なお、第3回定例会の請願の受
理期限は8月21日(火)17時です。

傍聴のご案内

本会議はどなたでも傍聴できま
す。お気軽に議会棟4階にお越し
ください。傍聴席は80席あり、車
いす席も7台用意しております。
聴覚障がい者の議会傍聴につ
いては、手話通訳・要約筆記の対
応をしております。傍聴を希望さ
れる方は、傍聴の3日前までに議
会事務局にお申し込みください。

平成30年第3回定例会(予定)

- 8月31日 議案上程
- 9月5日 議案質疑
- 6日 委員会付託
- 11日 常任委員会審査
- 13日 予算決算特別委員会
- 20日 一般質問
- 21日 委員長報告、討論、
表決
- 27日 委員報告、討論、
表決

※日程は変更することがあります。

議案質疑

今定例会議案質疑は、執行部が提出した平成30年度補正予算や条例などの議案に対し、6月19日に6名の議員が質疑を行いました。そのうち主な質疑内容を掲載します。

別府市温泉発電等の地域共生を図る条例の一部改正について

問 今回の条例の改正点は。また、なぜそのような改正を行う必要があったのか。

答 現行の条例は、温泉発電設備の設置による環境保全を主眼にした制度設計をしていましたが、今回の改正では温泉資源の保護に力を置き、別府温泉郷にとって開発を回避すべき重要な地域を「アボイドエリア」に指定します。その地域内で行われる地熱開発については、温泉掘削前に別府市温泉発電等対策審議会（以下、審議会）にて事前審査する仕組みを構築するとともに、地熱資源調査やモニタリング、事前説明会

の開催を義務付けました。

また、改正を行った理由は、平成28年度に実施した温泉資源量調査から得られた調査データを審議会にて分析・評価した結果の「減衰傾向にある」という評価を受け、伽藍岳及び鶴見岳の熱源部に近い地域は別府の温泉資源にとって重要な地域として特に守る必要があると考えたためです。

問 地熱開発と資源保護のバランスという点での、別府市の基本的な方針は。

答 別府市地域新エネルギービジョンを策定した際に、京都大学名誉教授の由佐先生を委員長とする別府市地域新エネルギービジョン推進委員会の中でも大きな議論となり、地熱開発に対する方針を定めました。

そのビジョンの中で、「別府市としては、新規掘削を伴う大規模な地熱バイナリー発電を積極的には導入促進しないが、既存泉源や周辺環境への影響がほとんどないと判断できるもののみ、導入促進の対象とする。既存泉源を利活用した小規模地熱バイナリー発電等を中心に導入促進を図る。」と明記しています。

問 地熱エネルギー開発は別府市全域が関係する課題である。しかし、市内の事業者や住民が開発案件の内容を知り、意見を述べる場が十分に設定されていないと思う。もっと、住民に対しての情報の開示や意見を述べる場の設定が必要なのでは。

答 今回の条例改正部分における蒸気や熱水からの熱エネルギーの伝播を考慮した事前説明会または事前協議の際の地元説明会の対象範囲については、現時点では地熱エネルギーの伝播が限定される範囲に限定され、下流域側まで対象を拡

げたものではありませんが、今後も調査研究を進め整理していきたいと考えています。

別府市犯罪被害者等支援条例の制定について

問 支援を行う窓口は。

答 条例制定に向けたこれまでの経過から、防災危機管理課とし、男女共同参画センターとも連携しながら行います。また、相談内容に沿って、具体的な支援に向け、各課や関係機関につき、支援を行います。

問 見舞金については。

答 県は、大分県犯罪被害者等支援条例が平成30年4月1日に施行したことに伴い、市町村が支給した見舞金の2分の1補助することを決めました。これを受けて、県内全市町村において、平成30年4月1日から見舞金を支給する制度の整備が行われました。本市においても、別府市犯罪被害者等見舞金支給要綱を同日

から施行しています。支給の内容は、遺族見舞金30万円、重傷病見舞金10万円とされています。なお、見舞金の支給については、被害届の提出が必要です。

行政視察の受け入れ

常任委員会では、所管している分野に関する他自治体等の先進的な取り組みについて、調査・研究を行うため行政視察に出向いています。一方、別府市議会においても、全国各地の自治体議会議員の方々から視察をいただいております。

平成29年度は66件の視察があり、対前年度比で17件の増加となりました。昨年度は「湯ヶ園地」に関する視察が、今年度は「死亡」に関する手続きを「おくやみコーナー」に関する視察が関心を集めています。

行政視察は市内の宿泊施設や御食事処をご利用いただくことで、一定の経済効果をもたらすことから、別府市議会では、今後も積極的に受け入れを行います。



常任委員会審査

本会議での提案者の説明及び質疑が終了した後、さらに詳しく検討するため、常任委員会等に議案審査を付託しています。今定例会では、平成30年度補正予算や条例などの議案に対し審査を行いました。

採決におきましては、全ての議案を全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

総務企画消防委員会

付託された議案

- ・一般会計補正予算（第1号）
- ・別府市犯罪被害者等支援条例の制定について
ほか9件

避難用ダンボールベッドの用途と管理状況

防災危機管理課関係では、コミュニティ助成事業助成金を活用し、別府市連合防災協議会の自主防災組織の取り組み強化等のため、訓練用及び研修用資機材を購入するための費用180万円を歳出に、また同額を歳入にそれぞれ計上

するとの説明がなされました。

委員から、購入する避難用ダンボールベッドの用途と管理状況について質疑がなされ、当局から、ダンボールベッドは、組み立て方など使用方法を自主防災会が訓練するためのものであり、当課が保管し、その他にも訓練用の人形やテント、研修で使用するスクリーンといった17品目を購入予定であるとの答弁がなされました。また、市内での避難用ダンボールベッドの必要量はどのくらいかとの質疑に対し、当局から、現在、福祉避難所として約100個、その他避難所用として約150個は備蓄済みであるが、災害時での需要は多いと考えているため、今後備蓄を増やしていく必要があるとの答弁がな

されました。

観光建設水道委員会

付託された議案

- ・一般会計補正予算（第1号）
- ・公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）
ほか2件

梅園温泉の再建

温泉課関係では、共同温泉に要する経費の追加額として、平成28年の熊本地震の被害により解体した市有区営温泉「梅園温泉」について、再建費用の一部として温泉建設等補助金及び貸付金を補正しているとの説明がなされました。

委員から、今後のスケジュール等について質疑がなされ、当局から、市からの補助金及び貸付金700万円以外に旧温泉組合から引き継いだ積立金、クラウドファンディング等による寄附金、災害見舞金等が計850万円あり、再建に掛かる建設費の用途が立ったため、これから建築工事に取り掛かり、年内の

完成を見込んでいる。また、入浴料の値上げなどにより経営の向上を図っていく予定であると梅園温泉組合から説明を受けているとの答弁がなされました。

厚生環境教育委員会

付託された議案

- ・一般会計補正予算（第1号）
- ・別府市出張所設置条例の一部改正について
ほか6件

別府市温泉発電等の地域共生を図る条例の一部改正

環境課関係では、市民共有の財産である温泉資源を保護するため、温泉発電等掘削を回避すべき地域の指定、当該地域内における温泉発電等掘削の手続き等を定めることに伴い、条例を改正するものであるとの説明がなされました。

委員から、地域住民の声が反映され、より充実した内容を盛り込んでいくため、附帯決議を付すことが提案され、採決の結果、全員異議なく、決定いたしました。

した。

内容は次のとおりです。
『別府市温泉発電等の地域共生を図る条例』については、今後、以下のことを検討し、できる限り速やかにその検討結果を、議会に報告することを、強く求めます。

- 1 別府市温泉発電等対策審議会の構成委員に住民や、まちづくり組織の代表を加えるよう要望する。
- 2 地域におけるトラブルを、未然に防止するため、地域の合意形成を行う場に、市が主体的に関与すること。具体的には、温泉発電等設備の設置前に、設備、環境、景観等の専門家、及び、当該地域の住民代表等を含めた協議会を設置した上で、合意形成を進めるような、仕組みを作ること
- 3 温泉発電等設備設置時点の最終段階において、事業計画についての市長の同意を求めること。また、不適切な案件に関しては、当該同意の取り消しも、可能にできるような仕組みを作

一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。6月議会では17名の議員が市当局の見解をいただきました。主な内容は次のとおりです。

地獄蒸し工房鉄輪不正支出の返金

自民・創生

安部 一郎 議員



問 地獄蒸し工房鉄輪不正支出の返金について説明を。

答 地獄蒸し工房鉄輪の前指定管理者が施設運営を行っていた間の余剰金3173万251円については、平成29年11月30日に地獄蒸し工房鉄輪指定管理損害賠償金として市へ2425万6656円の納入がありました。当該NPO法人の理事会で承認されました市への寄附金747万3595円について

では、NPO法人側の都合により履行されておりません。

問 最近のプロポーザルの方式の審査において有識者がほとんど含まれていない。行政だけの審査、選定は改めるべきである。公平性・透明性・客観性のためにも有識者、第三者で審査員を構成するべきである。

答 特殊性、専門性が必要なケースは有識者を入れることができます。ガイドラインに沿って必要に応じて有識者をお願いします。

問 ホームページは、利用者目線で見やすく、使いやすく、迅速に対応して欲しい。やるが遅すぎる。

答 改善に取り組み、今後効果的な見せ方、伝え方

を工夫していきたいと考えています。

春木苗圃跡地の活用について

新風べっぶ

野上 泰生 議員



問 春木苗圃跡地の現状は。

答 春木苗圃跡地は、石垣土地区画整理第一工区地区の区画整理に伴い生じた土地で、昭和35年に春木川公園として、都市計画決定後、昭和41年より苗圃となりました。その後、「早期に都市公園として整備すべき」という指摘を行政監察局から受け、平成18年に苗圃としての利用を中止しました。現在では、資材置き場及び花の植栽並びに市民や自治会への苗木・花苗の無料配布事業用地として活用しています。

問 第一工区地区は春木川

の南側で線路より海側の地域のことである。現実には、都市公園とはいえ、立ち入りもできず、十分に活用されていない。周辺地区は買ひ物をする場所がなく、地域の方々は、とても困っているという課題がある。土地を貸すことで、市の収入も増える。元春木苗圃跡地はより有効な活用をすべきである。

答 当該地は都市計画決定公園でもあり、都市計画の変更・廃止に伴う法的手続きや第一工区地区内関係者の理解等、多くの課題をクリアする必要もあります。今後、関係機関や市民の皆様のご意見を伺いながら、慎重に進めたいと考えています。

共同温泉の今後

新風べっぶ

小野 正明 議員



問 温泉課が現在把握できている市内の共同温泉の数は。共同温泉が減ってきているとの認識はあるか。

答 2018年4月現在市内には「市有区営温泉」が70施設、「区有区営温泉」が13施設です。かつて存在した共同温泉がなくなっていることは認識しています。

問 減少の原因はどのようなことが考えられるか。

答 一、入浴者の減少に伴う収入減少による経営難
二、温泉組合役員の高齢化、後継者となる担い手不足
三、温泉施設全体の老朽化
以上が考えられます。

問 共同温泉の経営も考え「高齢者優待入浴券」の取り扱い、市営温泉の料金改定等考える時期ではないか。

答 共同温泉との兼ね合いを考慮しながら検討します。

問 来年4月から引き上げる入湯税を共同温泉の存続のために使えるようにすべ

きではないか。

答 温泉課としてはそのように考え、公民一体の新しい組織の中で検討します。

学校施設の
洋式トイレの整備状況

公明党

市原 隆生 議員



問 昨今、各家庭のトイレはおおむね洋式となっており、和式トイレの残る古い公営住宅等でも簡便な機器を設置し、洋式トイレとして使用している家庭も多いようである。このような中で育った子ども達は和式トイレに馴染めず、特に中学生はこの傾向が著しく、トイレを我慢して、家に帰ってする等ということも聞いている。市内小・中学校の洋式トイレの設置率と現状は。

答 平成29年度末現在44%

ですが、教室等の各階に洋式トイレがないのは小学校で4校7カ所、中学校では5校17カ所です。

問 熊本地震の後、避難所としての学校施設の在り方が問われ、洋式トイレの設置が前進した経緯がある。教職員の努力もあり、今のところ目立った不登校の報告等はないようだが、子どもたちが一日を過ごす場として安心できるものにしてほしいがいかがか。

答 洋式トイレは衛生面や節水効果で優れており、内閣府でも推奨しています。生活様式の変化に対応したトイレ環境の改善は必要だと考えています。大規模改修時だけでなく、トイレ単体の整備について、早急に取り組んでいきたいと思えます。



子育て支援制度について

自民・創生

阿部 真一 議員



問 別府市の子育て支援としてどういった事業を行っているか？

答 主として児童虐待、子育て等に関する相談受付や関係機関への調整、母子生活支援施設への措置対応、認可保育所などに対する各種相談対応、公立保育所、児童館、支援センター、ファミリー・サポート・センターの運営管理、病児保育、放課後児童クラブなどの事業委託に伴う各種対応、各種手当の支給及び子ども医療費の助成などを行っています。

問 ほっとクーポンの活用内容は。

答 クーポンが利用できる



サービスは、開始当初「一時預り」「病児保育」「ファミリー・サポート・センター」「インフルエンザ予防接種」でしたが、昨年度より「家事援助」「母乳マッサージ」「ベビーマッサージ」「指定絵本の購入」「フツ素塗布」が、本年度から「おたふくかぜ予防接種」「ロタウイルス予防接種」も追加しています。

問 現在、病時保育施設は市内1カ所であるが、今後、利用者が急増する時期の対応をどう考えているか。

答 病児保育の実施については、病院と併設されている方が安心であるという保護者の声や、実施施設が増えることで逆に病児保育の運営が難しくなることもあるため、施設を増やすには十分な検討が必要であると考えています。

公共体育施設の
床板剥離について

志士の会・自民

松川 峰生 議員



問 学校体育館や体育施設で床板が剥がれ、木片が体の一部に突き刺さる事故が報告されている。この問題で消費者安全調査委員会が体育施設を調査した結果、施設利用者への適切な注意喚起が行われていない施設が30%以上と明らかにしている。文科省からも県を通じ「体育施設の剥離による負傷事故の防止について」の通知文が別府市教育委員会宛に届いていると思うが、別府市の各学校、各体育館において、過去10年間で剥離に伴う負傷等があったのか、あった場合は、件数と負傷の内容は。

答 各小中学校、べっぶアリーナ、市民体育館、各地区体育館で床の剥離に伴う

事故の報告はございません。

問 幸い、負傷等の報告がないとのことですが安心した。今後は事故等を防ぐためにどのような対応をしていくのか。

答 今後の対応については、引き続き、文科省からの通知に基づき、適切な清掃の実施、日常・定期点検の実施、計画に基づく補修・改修の実施、施設利用者に注意事項の周知等を図り、事故のないよう施設管理者に徹底させていきたいと考えております。

油屋熊八翁碑前祭及び銅像建立

自民・創生

萩野 忠好 議員



問 油屋熊八翁碑前祭について、現在、出席者が少ないのは何が原因か。

答 現在は神事のみで以前

のように催しや踊りの披露などが行われなくなり、市民の集まりが少なくなっています。

問 油屋熊八翁は大正時代から別府観光のためにアイデアと積極的な実行力によって努力された方で、その功績に対し11月1日碑前祭、3月27日には命日祭が別府公園で開催され、歴代の別府市長が顕彰会長になり、別府市観光協会に委託している。昔はいろいろと催しなどを入れ、賑やかにしていたが、方法を考えてほしい。

答 別府観光にとつてはご恩のある方ですので、今後関係者と協議します。

問 油屋熊八翁の息子正一御夫婦が毎年11月1日に千葉県より出席していただいています。86歳となり病気で足も弱くなり、今後は来別できるか心配である。今年で顕彰会は60周年記念となり、この機会に他都市でもある有名人の銅像のように別府観光発展に大きく貢献された油屋熊八翁

の本人像の建立を息子さんの生存中に関係者や市民の皆さま方に是非お願いしたい。別府駅にある寄贈されている銅像は芸術的な姿であり、本人とは大違いである。別府市の考えは。

答 現状では別途、銅像建立の予定はありません。

消防の採用資格（色覚）について

公明党

堀本 博行 議員



問 私は1期目から消防の採用資格の色覚問題を取り上げてきた。全国的にみても、最近では、色覚検査を実施しなくなった消防本部もかなり増えてきている。2017年、消防職員の採用試験で全国の約6割にあたる消防本部が「色覚検査」を実施し、その結果を採用に反映させていることがわかった。一方、4割の

消防本部は検査を求めている。全国で対応にばらつきがあることも判明した。この調査はカラーユニバーサルデザイン推進ネットワークが実施し、47都道府県中36都府県の532の消防本部から回答があった。また、大分県内でも、大分市をはじめ、豊後高田市、竹田市、中津市等が色覚検査を緩和している。別府市消防本部としての今後の対応は。

答 別府市はこれまで色覚検査については、「色覚正常であること」としておりましたが、次回の採用試験から「運転免許の取得要件に合わせ、赤・青・黄色の色覚が識別できること」に変更したいと考えています。

温泉発電 図書館・美術館一体的整備

日本共産党議員団

平野 文活 議員



問 別府市内での温泉発電は、件数で47件、発電量は5741kWであり、件数は全国の半分近くが別府に集中している。平成27年3月に策定された『別府市新エネルギービジョン』では、平成32年度までの目標は1220kWであり、目標の約5倍にもなっている。国の固定価格買取制度（FIT）の認定で、市の目標である1220kWを超えたのはいつか。

答 平成26年9月です。

問 ということは、別府市は別府市温泉資源を活用した発電事業に参入しようとしている事業者の動向も把握しないまま、『新エネ』計画を立てていたことになり。こうしたなかで、小倉地区では乱開発による住民とのトラブルが続いている。事業者と住民との定期協議の場をつくり、トラブル解消のために、市長自身が動くべきではないか。

答 自分が生まれ育った場所であり、地域住民の困り

ごとに関しては自分自身の問題であるとの認識を持っておりますので、できる限りのことはさせていたいただくという決意でございます。

問 6月28日には図書館・美術館一体的整備のグラウンドデザイン業者が選定される。選定過程をすべて公開すべきだがどうか。

答 審査基準に基づく点数はすべて公開します。

別府市の
子ども子育ての努力！

桃花善心の会

竹内 善浩 議員



問 チャイルドラインなどの聞き手団体との連携はどうか。

答 本年度も全児童生徒に対して「チャイルドラインカード」を配布し、各種相談窓口の周知を図るよう指

導します。今後これら団体と協働のための話し合いの場を検討していきます。

問 学校現場におけるキャリア教育の現状と連携はどうか。

答 勤労観や職業観育成に向けて、外部講師を招聘した講話や、実際の体験学習に取り組んでいます。参画したい企業や団体の方など、学校教育課にご連絡を頂ければ、学校への周知などの対応をします。

問 子どもの虐待やネグレクト（育児放棄）への対応はどうか。

答 子ども支援係が担当します。子どもの生命に関わる事例もあるため、受理会議により、児童相談所への送致、48時間以内の安否確認を含め、週末祝日も判断対応しています。常に保護者に寄り添い、安全安心な子育て支援を心掛けています。

問 LGBTや障がい者などの事実婚の方が、パート

ナーズ婚認定を受け、転入された場合、対応はどうか。

答 現状制度では困惑されることが予想されます。皆さまの心に寄り添い受けとめ、関係部署や機関と連携しながら、皆さまの支援に努めていきます。

教職員の超勤・多忙化
について

市民クラブ

三重 忠昭 議員



問 教職員の調査報告の対応など事務処理や会議が多く、多忙化と超勤に歯止めがかかっていない。負担軽減への業務削減が追いついておらず、教職員等と協議の場を設け、実効性ある取り組みをしてほしい。

答 子どもと向き合う時間が確保され、指導が充実できるよう業務量の削減を実行していますが、今後は管

理職やさまざまな職種・立場の教職員の代表の声を聞く場を、8月を目途に設け、実効性のある業務改善に向け継続的に取り組んでいきます。

問 セクハラ問題などハラスメントへの問題意識が高まるなか、市役所内での取り組み状況はどうなっているか。

答 昨年度から全職員を対象とした研修を行ってまいります。国が管理職への対応を強化するとの通知もあり、改めて管理職に対する研修を行い、今後も一般職員含め計画的に研修を実施し、啓発も強化していきたいと思っております。

問 別府市外から来られる観光客の方から、バリアフリー対応設備の情報が分かりづらいとの声がある。改善に向けてできることからお願いしたい。

答 別府市のホームページから別府・大分バリアフリーツアーセンターの観光

情報サイト及びバリアフリーマップにリンクが貼られていないため、対応するよう改善してまいります。

通学路における防犯対策
バス停上屋

市民クラブ

森山 義治 議員



問 子どもの通学路において、暗闇や危険箇所を防犯カメラの取り付けや市が管理している公用車にドライブレコーダーを取り付けて欲しいが見解は。

答 現在、通学路には防犯カメラを取り付けていません。今後、警察署や防犯協会連合会、さらには各課と連携し、設置場所や設置主体などについて協議し、議論を深めます。また、ドライブレコーダーは、公用車による交通事故の際、過失割合の判定にも役立ちますが、1台あたり2〜3万円

の経費がかかります。子どもを含めた市民が巻き添えとなる事件や事故の早期解決につながることを考えられるため、新車購入時を含めて、今後、調査研究をします。

問 ひとまもり・おでかけ支援事業において、富山市では一日の平均歩数調査で、バスで外出し、一歩多く歩くことによる医療費の削減効果を一步0・072円で試算し、バス利用者を一曰1400人と想定すると、一年間でおおよそ7900万円の医療費削減につながるかと試算している。別府市も医療費の削減数値を出してみてもいいか。

答 国交省が公表している数値を参考にし、本事業の方向性を見極めながら検討します。

問 観光各所、病院や主な乗り継ぎのバス停留所に上屋設置をお願いしたい。

答 設置に向け、バス事業者や道路管理者等と協議を

行います。

医療的サポートが必要な児童生徒への対応

公明党

あない こうじ
穴井 宏二 議員



問 医療的ケア児とは幼い頃から障がいや病気により、人工呼吸器の装着や胃ろうによる経管栄養、たんの吸引などの医療行為を日常的に必要とする子どものことだが、今、全国的に増加していると聞いているが、教育委員会は現状をどのように認識しているか。

答 厚労省が平成28年度に行った「医療的ケア児に対する実態調査」では全国に



約1万7千人いると推定されており、平成17年度に比べて1・8倍になっています。別府市においても、実際にケアの必要な子どもがいることを承知しています。

問 医療的ケア児に対して、医療的行為ができるのは限られた人だけになる。保護者も休まる間もなく、子どもも命と向き合う生活を送り、さらに障がい、福祉などどこに相談したら良いかわからない状況である。他の自治体では小中学校に看護師を配置し、対応しているところもある。別府市でも看護師の配置を行えば、命を守る良い環境づくりができると思うが、教育委員会としては今後どのように対応していくのか。

答 看護師の派遣は子どもの安全確保や保護者の負担軽減の面で有効な手立てと考えられます。今後、既に実施している自治体の取り組み状況や国の動きについて研究していきたいと考えています。

子育て満足度日本一 南部振興対策

自民クラブ

しゅとう ただし
首藤 正 議員



問 県の子育て満足度日本一の目標に向かっての推進策について、市はどのような施策を実施しているのか。また、保育士不足などで希望する保育所に入れない児童が増え、現在100名近くいる。放課後児童クラブについては、40人近くいるが、どのように解決していくのか。

答 各課と連携しながら、問題を解決するよう指示しています。また、庁内だけでなく、民間の皆さまの力を借り、地域と行政が一体となり、意見交換などをしてからアクションを起こしています。連携した組織体も必要となります。保育士不足などの問題があり、待遇改善しても他の地域に行

かれる現状があり、福祉と教育が連携を取り、子どもたちが地域ぐるみでしっかりと育っていくことが別府の将来のためになるので、力を合わせ諸問題の解決を図ります。



問 南部地域振興策の基本計画の説明は地域に対していつ頃実施するのか。旧南小跡地の開発計画と都市計画道路の整備について説明してほしい。

答 説明会は7、8月に実施します。南小跡地は住宅と複合公共施設を計画しています。広場の整備も行います。跡地前の道路は既に都市計画道路「浜脇秋葉線」として、路線変更を完了し、今年度、国の補助事業として事業認可を取得する予定です。

健活について

自民・創生

国実 久夫 議員



問 市報で「みんなでつくる健幸のまちべっぶ」が特集され、「週一元気アップ体操」の取り組みが紹介されている。浜町1区の公民館でも今年の4月から開始しており、参加者にとって住民主体の通いの場となっていることもあり、多くの参加者で賑わっている。これはどのような事業か。

答 週一元気アップ体操は、高齢者の方々が要介護状態にならず、いつまでも住みなれた地域で元気に生活が出来ることを目的に、週1回、歩いて通える範囲にある町内公民館等で住民が集まって体操を行い、自主的に介護予防に取り組みたいというものです。集まって体操することにより、運動

機能の低下を防ぎ、高齢者が孤独にならないメリットがあり、今後介護予防の取り組みが一層進むよう広報や立ち上げ支援に力を入れていきます。

問 都市計画道路浜脇秋葉線の進捗状況と今後どのような計画で整備を行うのか。

答 進捗状況としては来年度以降に予算化して着手する事業となります。今後の予定として、平成30年度は国からの交付金で事業を行うための都市計画事業認可を取得します。その後、来年度以降、測量設計、建物用地調査、用地買収、道路整備工事の順に進めていきます。

発達障がい児童・生徒の支援について

公明党

荒金 卓雄 議員



問 早期に把握する仕組み

はどうなっているか。

答 乳幼児期には1歳6カ月児健診、2歳6カ月児歯科健診、3歳5カ月児健診で、医師や臨床心理士、保健師などが状態を把握します。小学校入学前には、就学相談会などで医師、臨床心理士などによる把握ができるようになっていきます。

問 小学校等に入学する場合、適切な教育支援が受けられる学びの場はどうなっているか。

答 一般的に小中学校では、通常学級、特別支援学級、通級による指導という3つの選択肢があります。通級による指導とは、大部分の授業を通常学級で受け、一部の授業について障がいに応じた特別の指導を通級指導教室で行う特別支援教育の一形態です。

問 これらの学級間や学校間での教育支援の一貫性、継続性が求められるが、具体的な取り組みは。

答 教育委員会では、相談支援ファイル「ゆけむりん」を作成し活用しています。

子どもの成長に合わせて毎年活用することで、各段階における教育支援に生かすことができます。また、保護者の同意のもと、心身機能等の状況や教育支援内容等を記した個別的教育支援計画を作成し、相談支援ファイルとともに活用を行い、教育支援に一層の一貫性と継続性を持たせていきます。

亀川出張所について

自民クラブ

河野 数則 議員



問 亀川出張所の移転にあたり、地域住民への説明が必要であり、移転後の住民への市民サービスの充実が必要と考えるがどのように行っていくのか。

答 市役所亀川出張所につ

きましては、消防亀川出張所建て替えに伴い、現在地からあすなる館へ移転することを予定しております。また、高齢者や障がい者に証明書などを宅配する「まごころ宅配便サービス」の展開、その際、行政経験豊富な市役所OB職員を同行させ、行政に関する相談を行うなど、住民へのサービス向上に向けて検討していきます。

問 あすなる館周辺は交通アクセスが悪く、狭い道路も多い。移転後、交通量の増加が見込まれ、近隣住民への安全対策や、周辺の環境整備をすべきと考えるがどうか。

答 交差点表示、区画線等の道路管理者が施工可能なものについては、早急に現地を確認し対応したいと考えており、交通規制を伴う箇所については関係部署及び管理者と打ち合わせを行います。また、踏み切りについては、早急な対応は難しいと考えており、状況を確認し、時期を勘案し、調査に取り組んでいきたいと考えています。

永年勤続市政振興功労者表彰

第94回全国市議会議長会定期総会において、永年にわたり市政の振興に貢献された功績により特別表彰を受賞された議員に対し、6月定例会初日の議事終了後、表彰状の伝達式を執り行いました。

永年勤続15年 国実 久夫 議員



左から 長野市長、国実議員、黒木議長、森副議長

広報活動

市民の皆さまの関心を高め、開かれた議会の実現のため、「別府市議会ホームページ」及び「市議会だより」では、「市民と議会との対話集会」の報告など多くの情報を掲載していますので、是非ご覧ください。

<http://www.city.beppu.oita.jp/gikai/>

今後の広報活動の参考にすることを目的として、市民の皆さまのご意見・ご要望をお待ちしております。

虚礼廃止にご理解ご協力を

公職選挙法に基づき、虚礼廃止の徹底を行っています。

別府市議会ではこの一環として、初盆のお供えには、御霊のご冥福を祈る「追悼あいさつ文」を持参して、お参りすることになっています。

政治家が、暑中見舞い状を出すことや、お中元などを贈ることは、法律で禁止されています。

また、有権者の皆さまが、政治家に勧誘・要求することも法律で禁止されています。

市民の皆さまには、趣旨をご理解のうえご協力をお願いいたします。

編集後記



盛夏の候、皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、去る6月18日には、大阪府北部で地震が、さらに7月上旬には、西日本を中心に広い範囲で未曾有の大被害が発生し、多くの被害者、被害家屋が出てしまいました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。被災にも、早期の復興をお祈りいたします。私たち市議会も、このような災害のたびに、さらに災害に強い町づくりをしていかなければ、と改めて決意する次第です。

さて、今定例会市議会では補正予算審議に加え、17名による一般質問が行われました。いづれも、まちづくり、観光振興、温泉保護、防災などなど、市民生活に欠かせない重要な課題についてであり、活発な議論が行われたことをご報告いたします。本「べっぶ市議会だより」にて、その一部をご紹介しますが、各議員の質問につきましては、市議会ホームページのインターネット録画中継でも見ることが出来ますので是非ご覧いただきますようお願いいたします。

まだまだ暑い日が続きますので、皆さまには、お体には十分お気を付けいただきますようお願いいたします。ご挨拶とさせていただきます。

広報広聴委員会委員

加藤 信康